

News & Topics

2005 年 新年式

東弁会長挨拶「司法制度改革は制度設計から実行の時代へ」

2005年 東京弁護士会新年式



東弁は、1月11日午前10時30分から、弁護士会館クレオで新年式を開催した。

岩井重一会長から挨拶があった。先進会員、永年勤続職員、人権賞受賞者に対する祝意と司法制度改革は制度設計から実行の時代を迎えたことなどを述べた。

来賓として出席した梶谷剛日弁連会長、才口千晴最高裁判事、南野知恵子法務大臣（樋渡利秋法務事務次官代読）、永井紀昭東京地裁所長、鶴田六郎東京地検検事正から祝辞が述べられた。

表彰式では在会50年、寿齢100歳、90歳、80歳及び永年勤続職員の計63人が表彰を受けた。被表彰者を代表して100歳の堂野達也会員と90歳の宮島優会員から挨拶があり、いずれもユーモアに富む力強い内容で会場を沸かせた。

第19回を迎えた東弁人権賞は、「世界の子どもと手をつなぐ学生の会」と「大気汚染測定運動東京連絡会」の2団体が受賞した。

平松紘選考委員長（青山学院大学教授）から選考経過の報告があった。今回受賞の2団体の活動は、長期間にわたり多くの方々がかかわってきたものである。学生が受賞対象になったのも東弁人権賞史上初めてである。人権活動を幅広く緩やかにバランス感覚を大切にしながら、これから裁判員制度などにかかわっていくであろう新たな法社会を踏まえて、従来と少し違う視点も加味し選考したとのことであった。受賞団体には表彰状と副賞、テミス像が贈られた。世界の子どもと手をつなぐ学生の会の中西久恵代表と大気汚染測定運動東京連絡会の藤田敏夫会長から受賞を励みに活動を継続していくとの挨拶があった。

新年式に引き続き祝賀会が開催された。岩井東弁会長、梶谷日弁連会長、堂野達也会員による鏡開きで始まり、多数の各界の来賓や会員が参加し盛会であった。

なお、人権賞受賞者の詳細は順次LIBRAに掲載予定。

写真上より

- (1) 年頭所感を述べる岩井東弁会長
- (2) 第19回東弁人権賞受賞の皆さん 左より「大気汚染測定運動東京連絡会」関係者と藤田敏夫会長（5人目）、「世界の子どもと手をつなぐ学生の会」関係者と中西久恵代表（7人目）
- (3) 恒例の鏡開き 左より梶谷日弁連会長、堂野会員、岩井東弁会長
- (4) 祝賀会 和やかに歓談する参会者